



春風駘蕩



北風が日毎に冷たく感じるこの頃です。インフルエンザに罹患する方が増えており、マスク手洗いは必須です。年末年始を楽しく過ごす為にも感染予防を心掛けましょう。

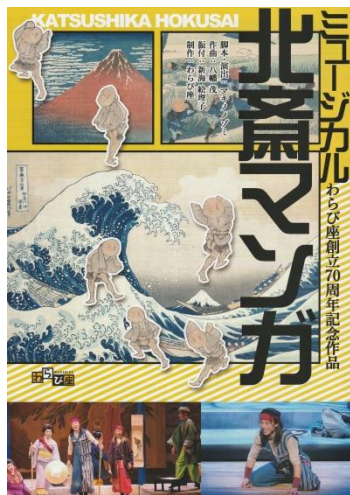
芸術鑑賞会に行ってきたよ～！

12月17日に芸術鑑賞会がありました。もちろん授業の一環ですが、保護者も事前申し込みにより鑑賞することが出来ます。私も子供が3年次生なのでラストチャンスとばかりに申し込みをしました。(保護者は無料です)当日、家内に「今日、芸術鑑賞会見に行ってくるから、家を12時に出れば間に合うでしょ!」と、のんびり構えていました。11時を過ぎて、そろそろ準備するかな～と学校からの手紙をよく見ると・・・会場 相模原市民会館・・・「まじ!グリーンホールじゃないじゃん。ヤッパァー」あわてて家を出て、何とか間に合いました。既に入口前の広場には生徒が集まっています。みんな私服なので傍から見ると高校生の集団には見えません。今回はミュージカルで「北斎マンガ」北斎?といえば、そう!葛飾北斎の半生をコミカルタッチでミュージカルにした演目、なんだかおもしろそう。会場時間が来ました早速入場してみましょ。保護者席は後ろ右側の一角に用意されていました。舞台には富岳三十六景神奈川沖浪裏の描かれた幕が掲げてあります。



演じる劇団は秋田県仙北市を本拠地とした「わらび座」です。ここから先は撮影禁止なのでパンフレットをお見せします。また、わらび座のホームページも併せてご覧下さい。絵を描くことが大好きな鉄蔵こと葛飾北斎の絵を売買していた版元が「おこと」(後の妻)を引き合わせる処から始まります。娘が誕生し、娘の成長と絵師としての生きざまを現代風なアレンジも交えて描かれた戯曲で非常に楽しく、時として生きることとは・・・、家族愛とは!を問い考えさせられる作品でもありました。内容についてこれ以上書くと「警告、指導」が与えられそうなので書けません、チャンスがあれば是非ご観覧下さい。公演エンディング曲「風になあって、風になって、新しい風にな!」と歌いながら出て来る生徒がいました。

心に響き感じるものがあつたのでしょう。私にとっては数年前に宝塚を見て以来のミュージカルでした。芸術鑑賞会いいね!!!



夫妻が求めるのは、北斎の題かもしれない

「絵がカ一代」もしくは「絵がカ日誌」
葛飾北斎といふ人は絵を描くこと以外は何も出来ず、
タマメな人だったらしい。暮らしにもお金にもまるで無頓着。秋から春にかけてはズットコトコ入ったままに寝て過ごしていたと云う。食事もザラザラで済ませて、眠らぬならそのままで、目が覚めるとまた眠く、寝静むと目醒め、目が醒めたらもう一回寝てしまふ。そうとうな怠り人だ。

CAST

主演 内田 勝之	二役 遠藤 啓子	三役 遠田 雄	特別出演 栗本 美花
監修(北斎)役 鈴木裕樹	演出 鈴木 直子	演出 上平 美咲	演出 村中 英登
演出 加人 真帆			

心に響き感じるものがあつたのでしょう。私にとっては数年前に宝塚を見て以来のミュージカルでした。芸術鑑賞会いいね!!!